

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2011年度 第1四半期決算

2011年7月28日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務 久保 誠

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- また、多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限られません。）を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの3ヶ月累計です。
- 2011年度および過年度のセグメント情報の数値は、2011年4月1日付の組織変更に伴い、組替えて表示しています。尚、7月1日付の組織変更は反映していません。

今回の決算のポイント

- 売上高は、円高の影響を中心に、一部、震災の影響などがあり、対前年同期で減収
 - 売上高 1兆3,261億円（対前年同期 ▲1,253億円, ▲8.6%）
- 営業損益は、震災および円高の影響もあり減益となったが、黒字を継続し、当期純損益も、前年同期並みの黒字を確保
 - 営業損益 41億円（対前年同期 ▲297億円）
 - 税引前損益 31億円（対前年同期 ▲69億円）
 - 当期純損益 5億円（対前年同期 ±0億円）
- D/Eレシオは、前年同期から19%改善し、有利子負債についても前年同期の水準を維持
 - D/Eレシオ 137%（対前年同期 ▲19%）
 - 有利子負債 1兆1,579億円（対前年同期 ▲26億円）

概要 対前年同期

単位:億円

摘 要	11/1Q	10/1Q	差
			対10/1Q
売 上 高	13,261	14,514	-1,253
営 業 損 益 %	41 0.3%	338 2.3%	-297
税 引 前 損 益 %	31 0.2%	100 0.7%	-69
当 期 純 損 益 %	5 0.0%	5 0.0%	0
基 本 的 1 株 当 た り 当 期 純 損 益	11銭	11銭	0

セグメント情報 対前年同期

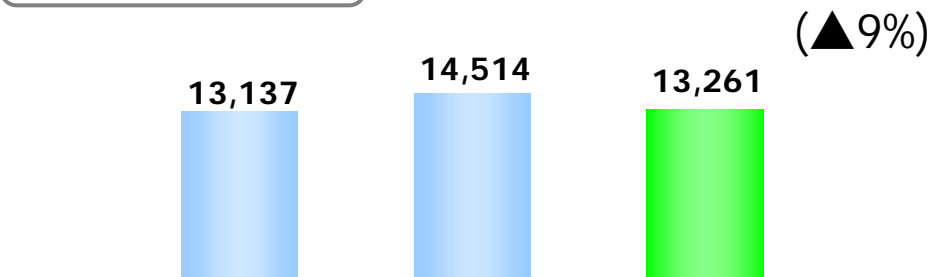
単位:億円

売上高	11/1Q	10/1Q	差
			対10/1Q
デジタルプロダクツ	5,220	5,822	-602
電子デバイス	2,684	3,320	-636
社会インフラ	4,269	4,389	-120
家庭電器	1,495	1,385	110
その他	776	814	-38
連結計	13,261	14,514	-1,253

営業損益	11/1Q	10/1Q	差
			対10/1Q
デジタルプロダクツ	0	106	-106
%	0.0%	1.8%	-1.8%
電子デバイス	43	270	-227
%	1.6%	8.1%	-6.5%
社会インフラ	-32	-25	-7
%	-0.8%	-0.6%	-0.2%
家庭電器	11	-12	23
%	0.8%	-0.9%	1.7%
その他	10	-3	13
%	1.3%	-0.3%	1.6%
連結計	41	338	-297
%	0.3%	2.3%	-2.0%

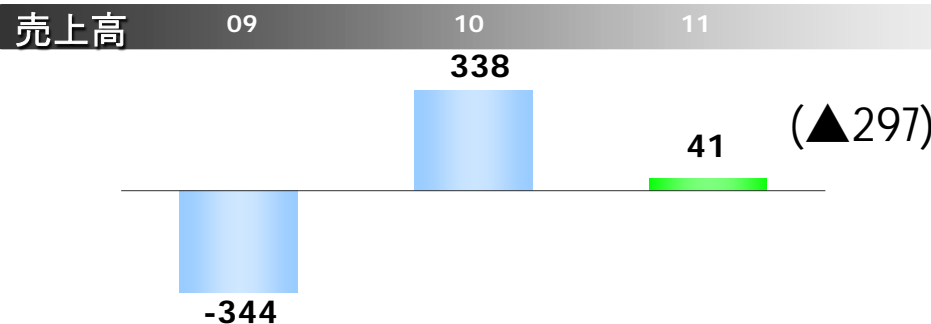
決算レビュー

単位: 億円
(対10年度)



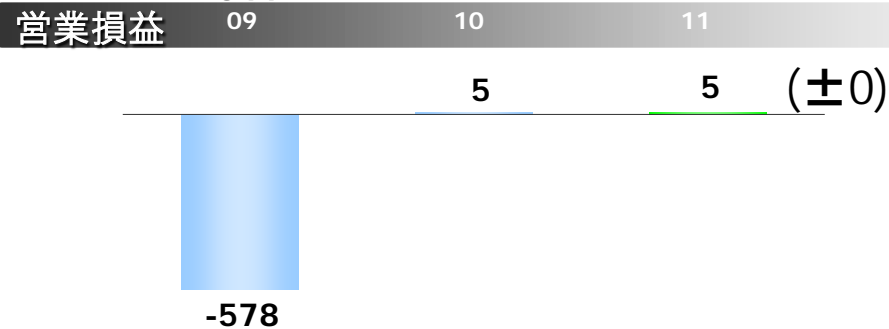
■ 売上高: 減収

家庭電器で増収になるも、デジタルプロダクツ、電子デバイス、社会インフラで減収となり、全体で減収



■ 営業損益: 減益

家庭電器で増益、社会インフラでほぼ横ばいとなるも、デジタルプロダクツ、電子デバイスで減益となり、全体で減益

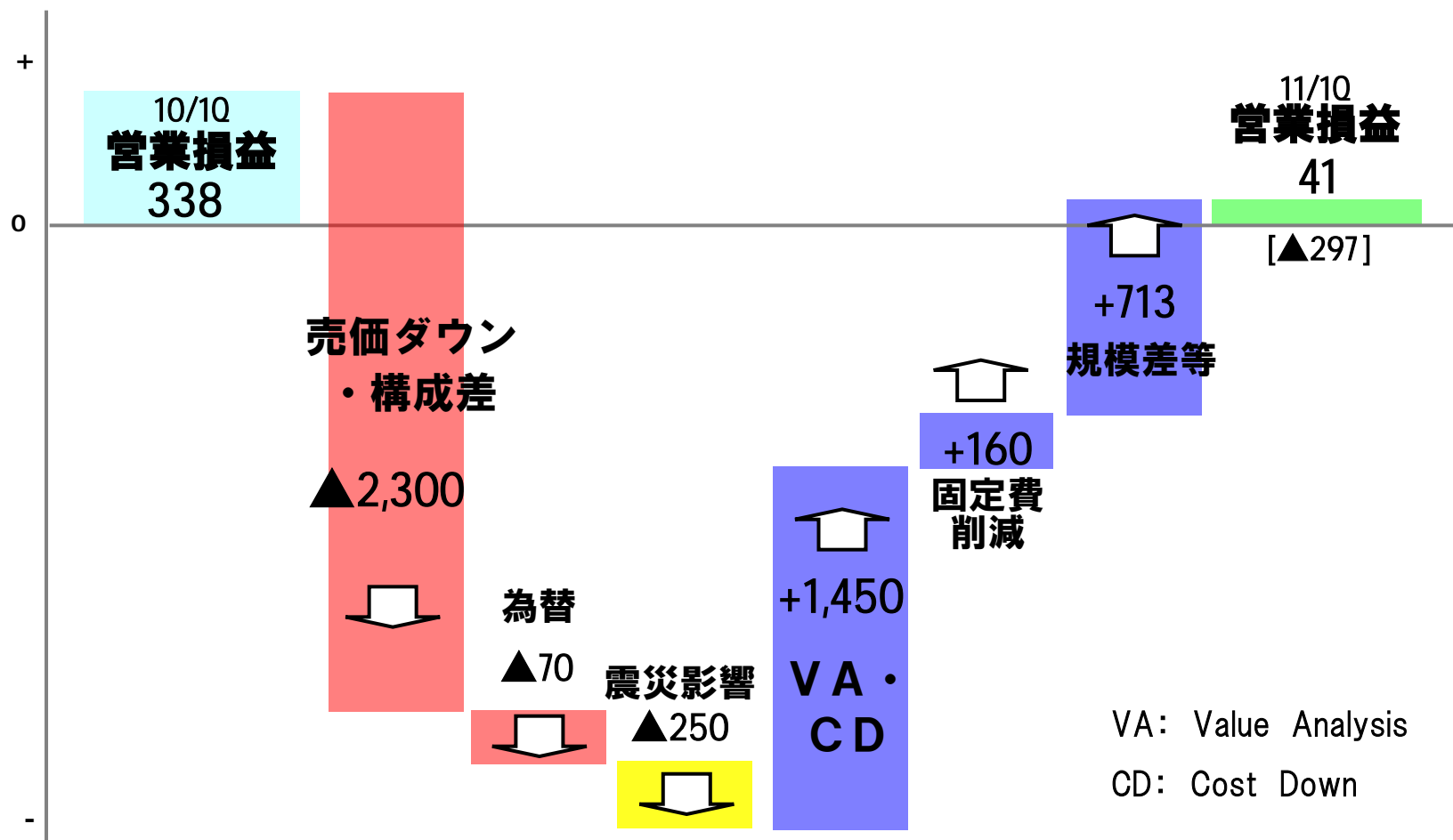


■ 当期純損益: 横ばい

税引前損益は悪化するものの、当期純損益は横ばいで、黒字を維持

営業損益分析

単位: 億円
(対10/1Q)



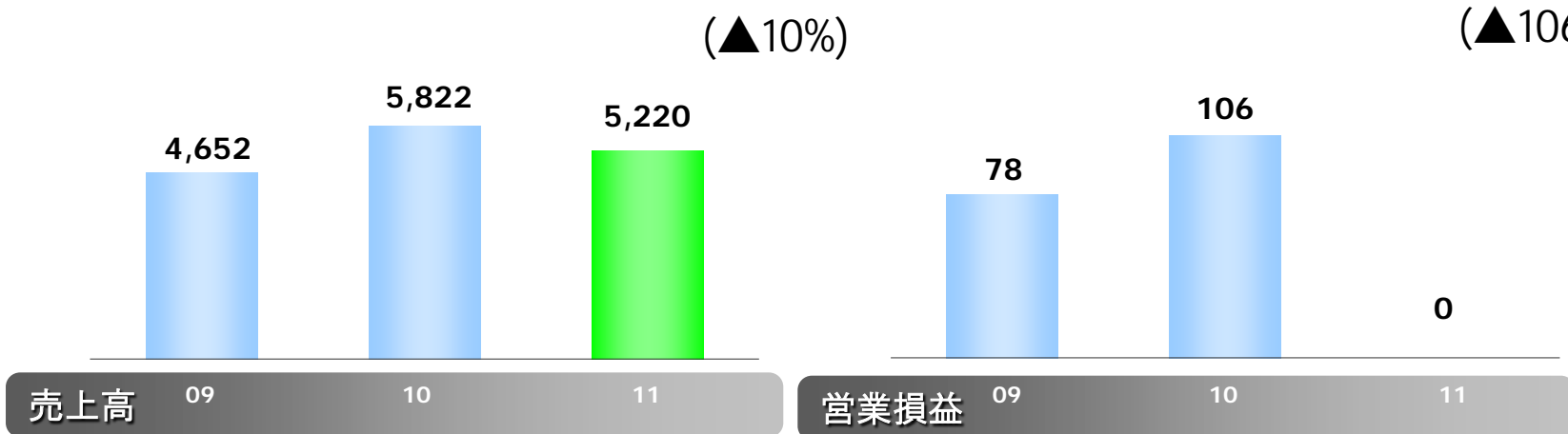
VA: Value Analysis
CD: Cost Down

震災による影響

	売上高	営業損益
①部品調達に関連した 生産への影響など	▲130億円	▲40億円
②生産設備の被災による 生産停止など	▲170億円	▲60億円
③震災の影響を受けた 顧客などへの売上減	▲600億円	▲150億円
合 計	▲900億円	▲250億円

デジタルプロダクツ

単位:億円
(対10年度)

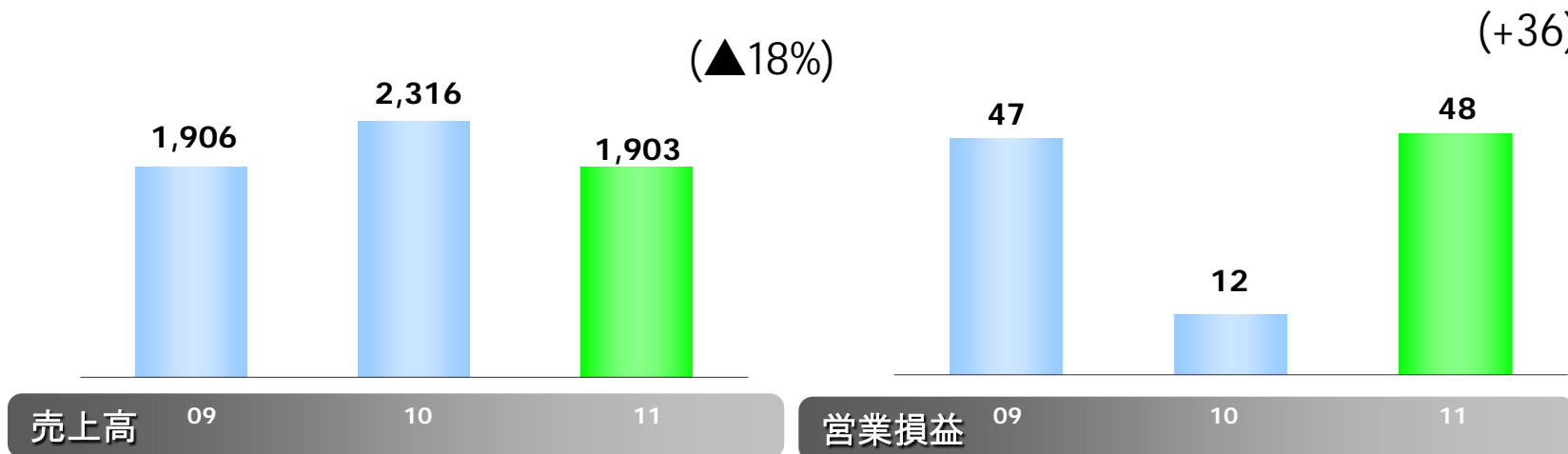


■ 円高の影響に加え、液晶テレビ、パソコンの欧米での伸び悩みと国内のエコポイント制度の終了などにより減収、記憶装置の光ディスク装置も減収

■ 液晶テレビおよび光ディスク装置の減収に伴い減益

パソコン

単位: 億円
(対10年度)

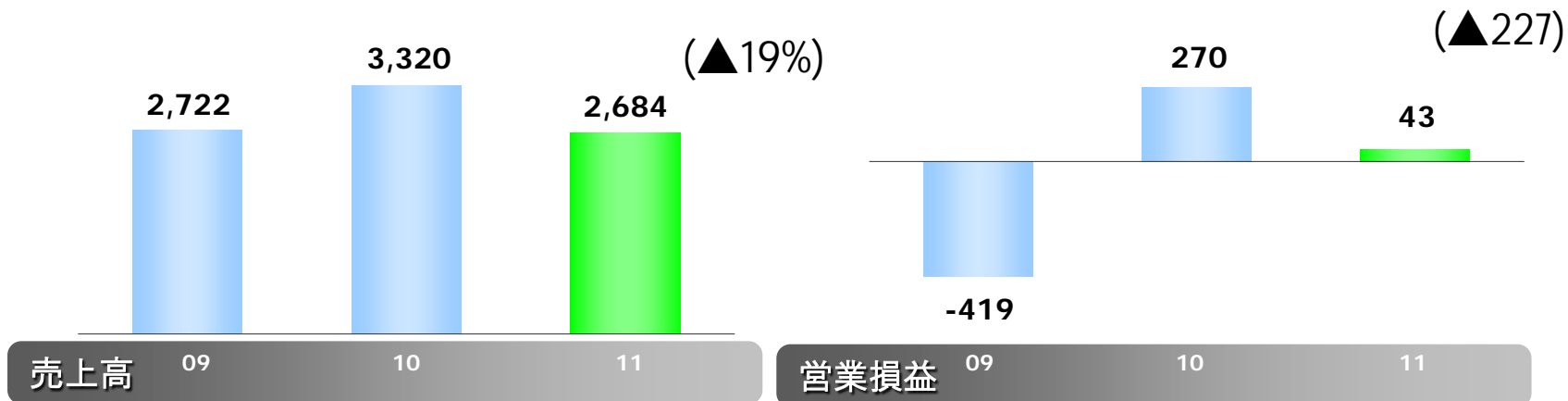


■ 国内は好調であったが、円高の影響などにより、全体では減収

■ 国内の増収に加え、コスト削減施策の徹底などにより、全体で増益

電子デバイス

単位: 億円
(対10年度)

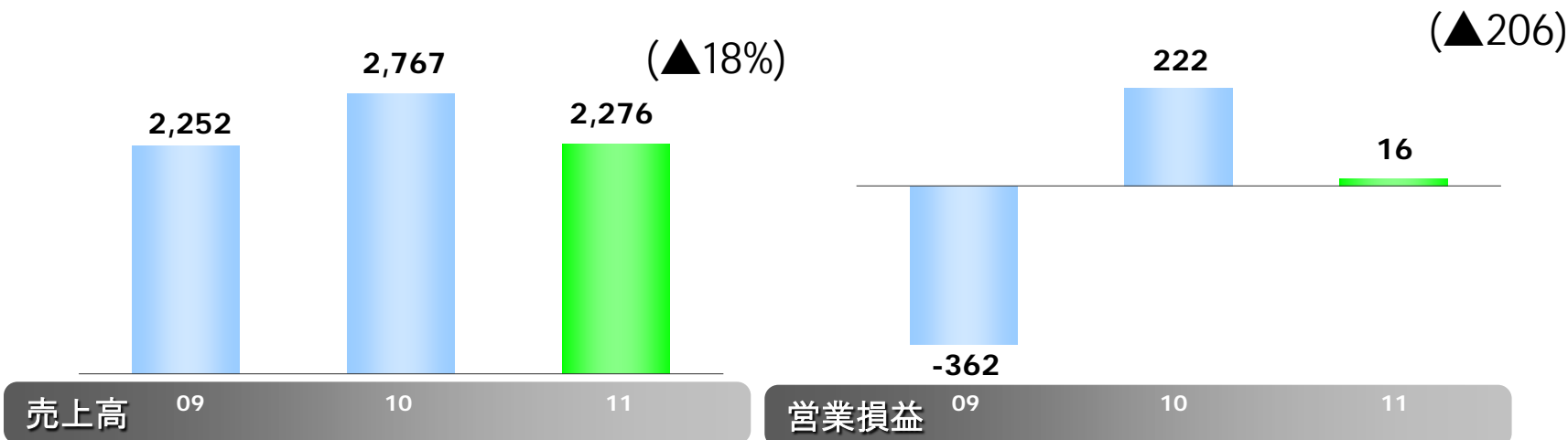


■ 円高および震災の影響などで、部門全体で減収

■ 円高および震災の影響などにより、システムLSIが悪化し、部門全体で減益

半導体

単位: 億円
(対10年度)



■ NAND型フラッシュメモリは需要は堅調であるが、円高の影響などにより減収、システムLSIも、生産子会社が被災した影響などで減収

■ NAND型フラッシュメモリは、円高と価格下落の影響があるものの一定の利益を確保、システムLSIが震災の影響を受けたこともあり、全体として減益

半導体 内訳

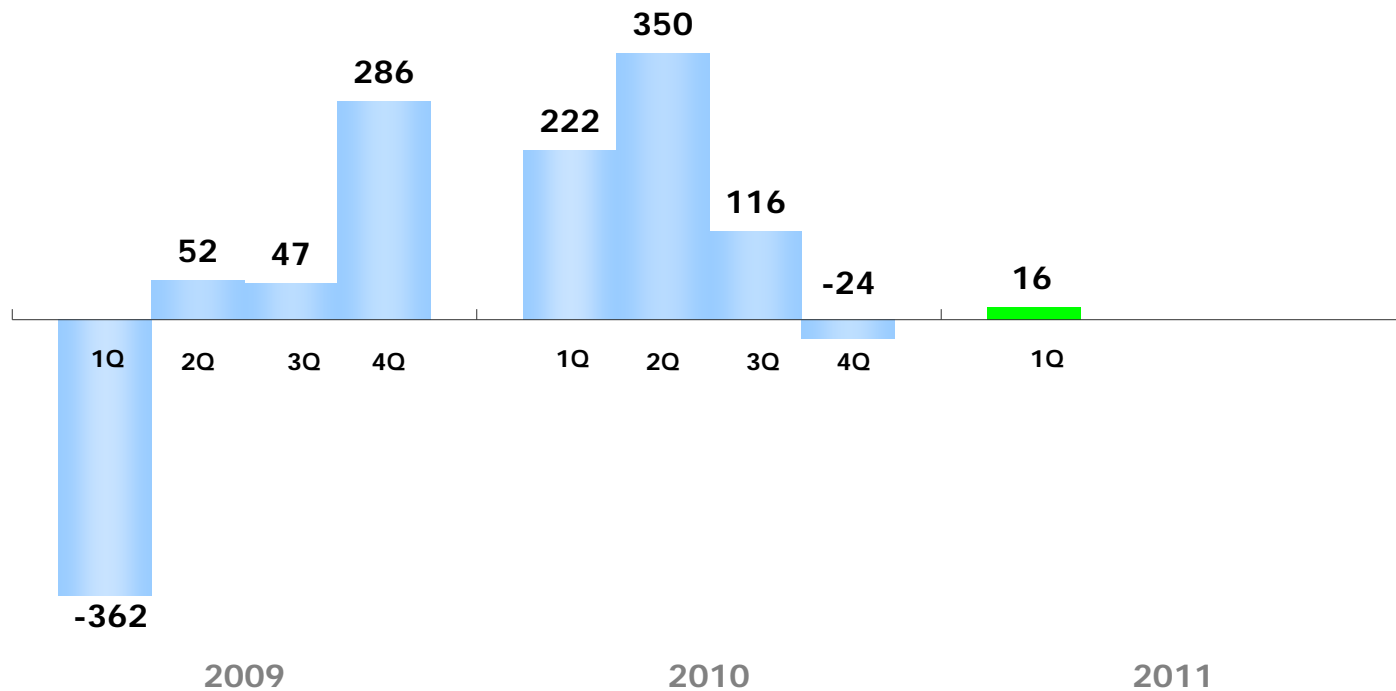
単位:億円

売上高	11/1Q	10/1Q	差
ディスクリート	462	508	-46
システムLSI	585	806	-221
メモリ	1,229	1,453	-224
半導体計	2,276	2,767	-491

営業損益	11/1Q	10/1Q	差
半導体計	16	222	-206
%	0.7%	8.0%	-7.3%

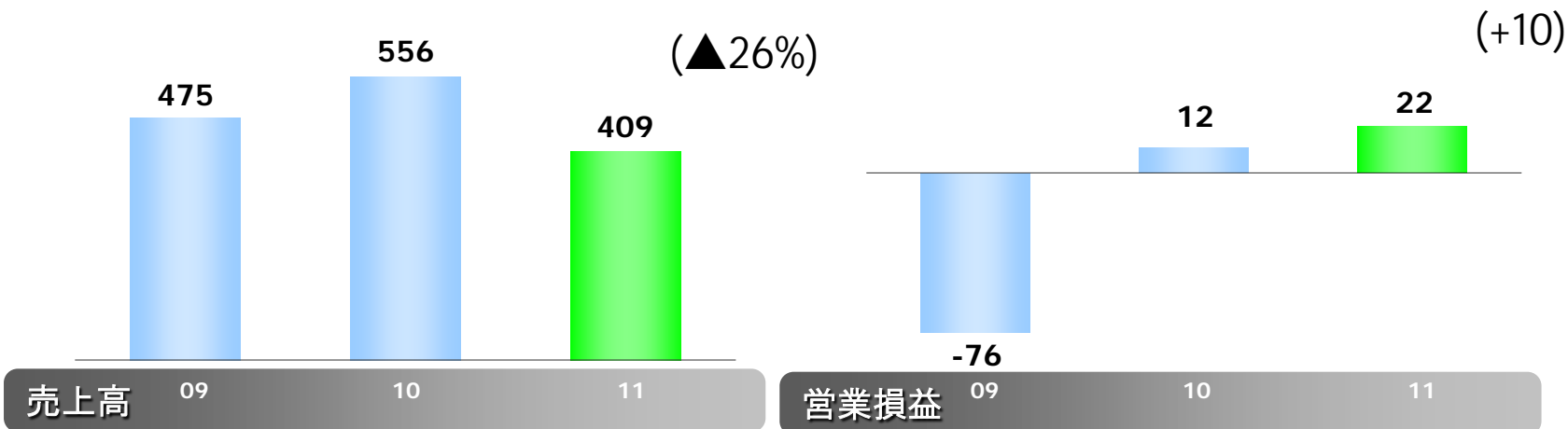
半導体 四半期別営業損益トレンド

単位:億円



液晶

単位: 億円
(対10年度)

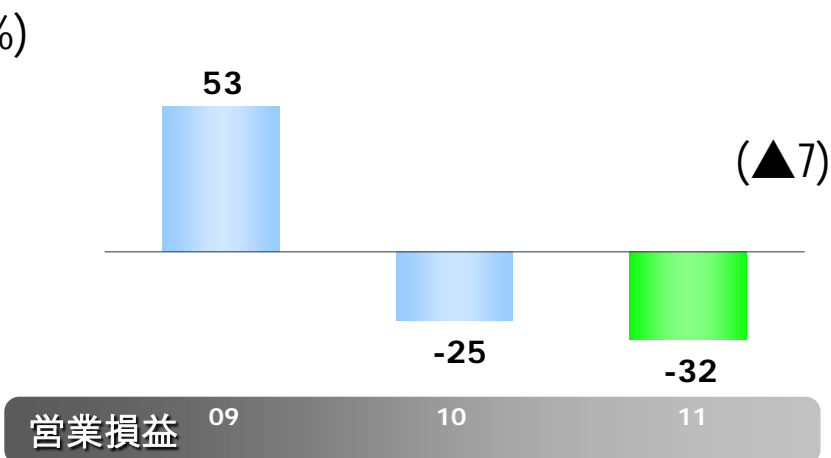
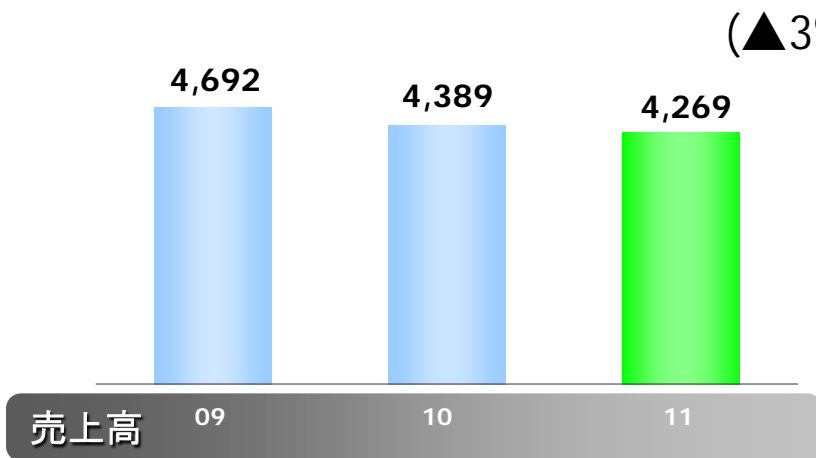


■ パソコン向けの生産子会社の売却による減収に加え、一部に震災による影響もあり、全体で減収

■ スマートフォンなどの携帯機器向けが好調で、コスト削減効果などにより増益

社会インフラ

単位: 億円
(対10年度)

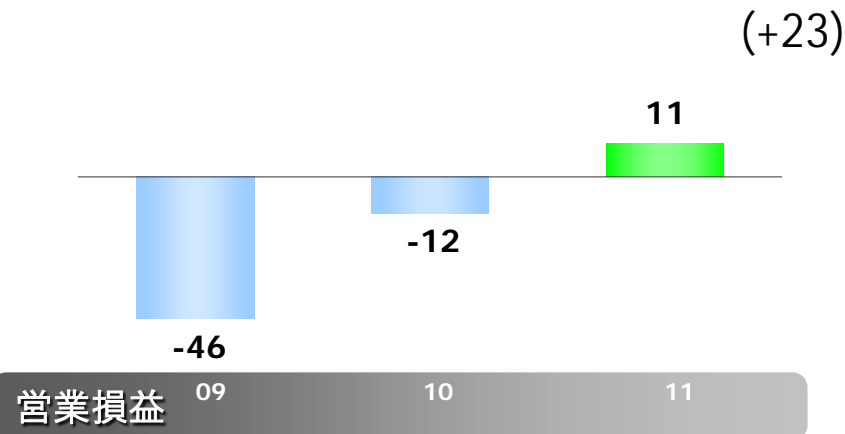
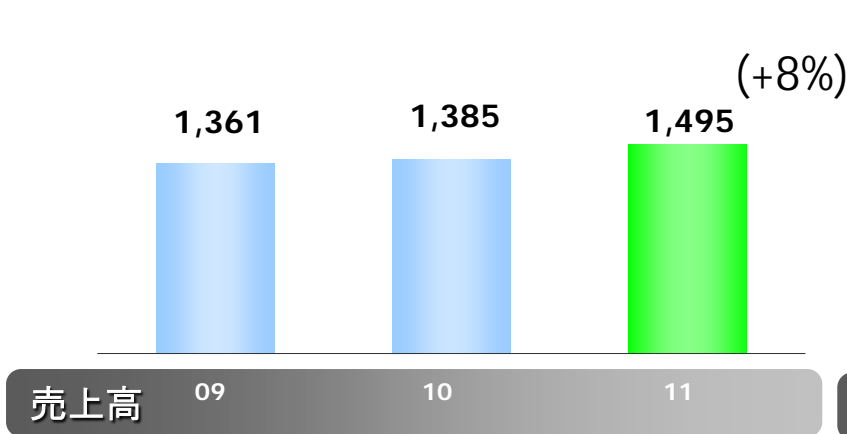


■ 火力・水力発電システム、交通システムは依然堅調で増収、医用システムも横ばいだったものの、円高の影響などがあり、部門全体として減収

■ 火力・水力発電を中心とした電力システムが堅調で、医用システムも増益となるも、円高などの影響があり、部門全体でほぼ横ばい

家庭電器

単位: 億円
(対10年度)



■ 家庭用エアコンを含む白物家電、LED照明、業務用空調などが好調で、部門全体として増収

■ 家庭用エアコンを含む白物家電、一般用照明の増益に加え、構造改革の効果などにより改善し、黒字化

営業外損益

単位:億円

	11/1Q	10/1Q	差
			対10/1Q
有価証券評価損	-6	-1	-5
固定資産売却損益	67	-5	72
持分法投資損益	42	11	31
為替差損益	-23	-82	59
金融収支	-49	-61	12
その他	-41	-100	59
合計	-10	-238	228

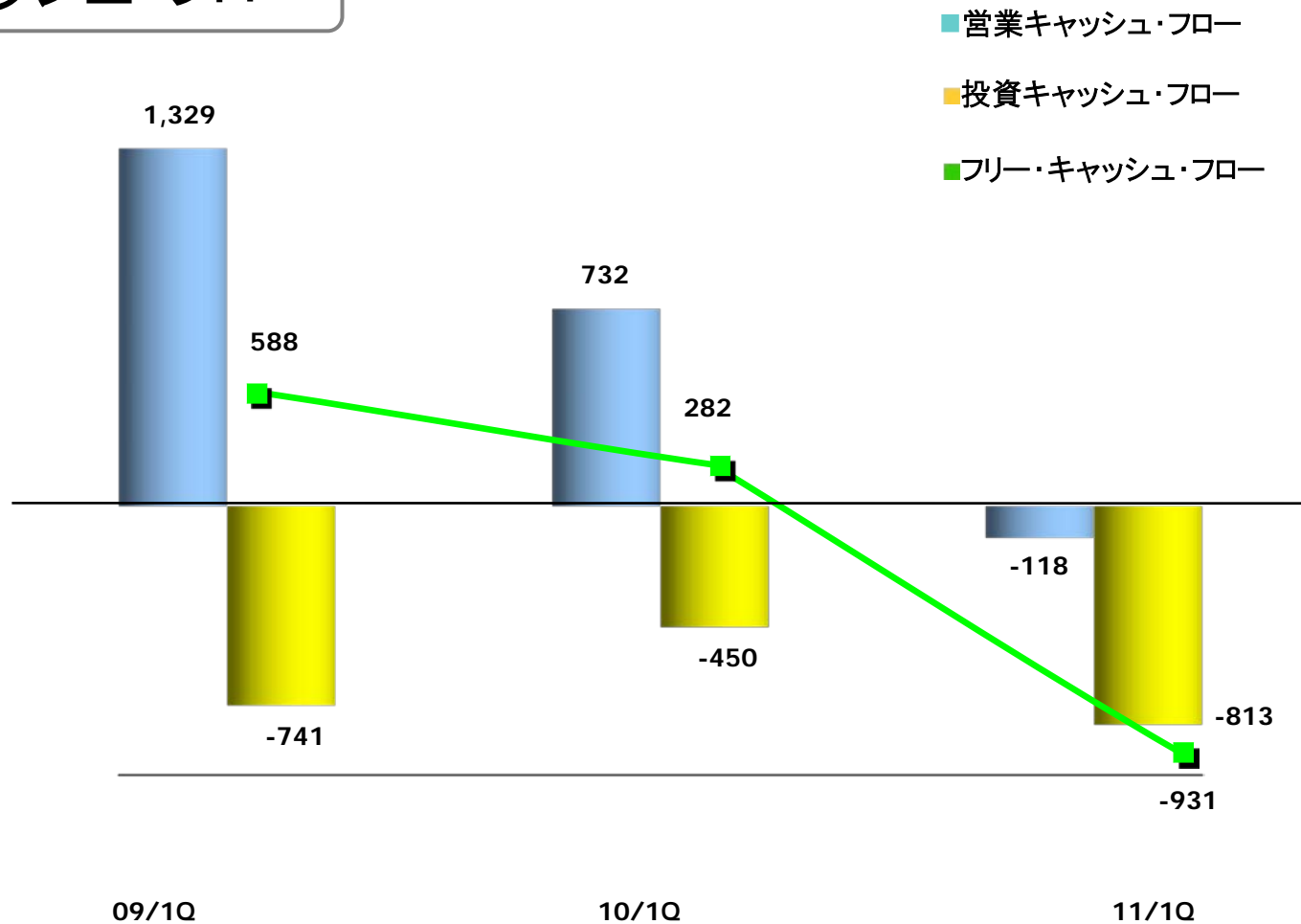
法人税等・非支配持分帰属損益

単位:億円

	11/1Q	10/1Q	差
			対10/1Q
税引前損益	31	100	-69
法人税等	-10	-40	30
非継続事業からの損失	0	-25	25
非支配持分帰属損益	-16	-30	14
当期純損益	5	5	0

キャッシュ・フロー

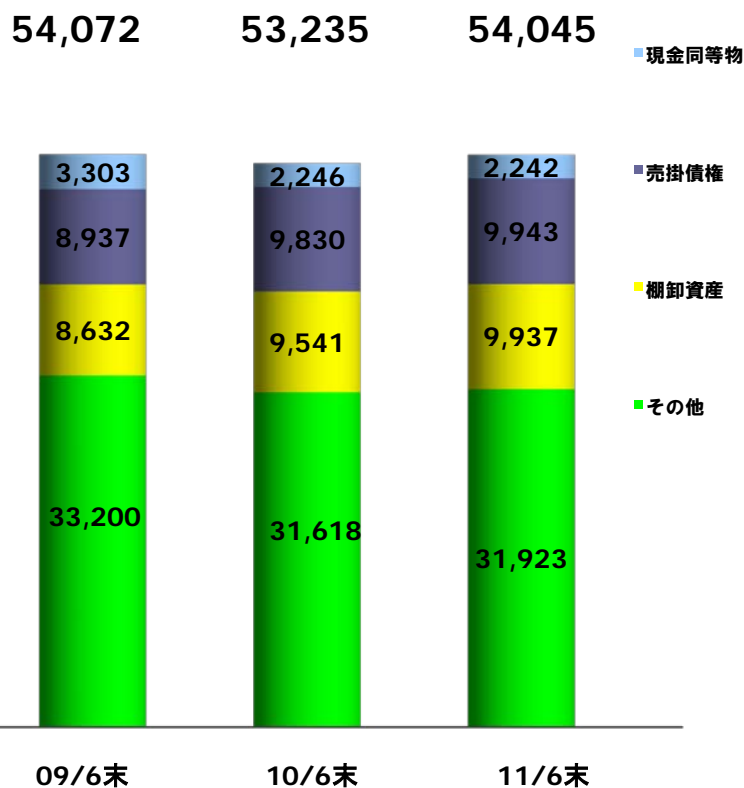
単位: 億円



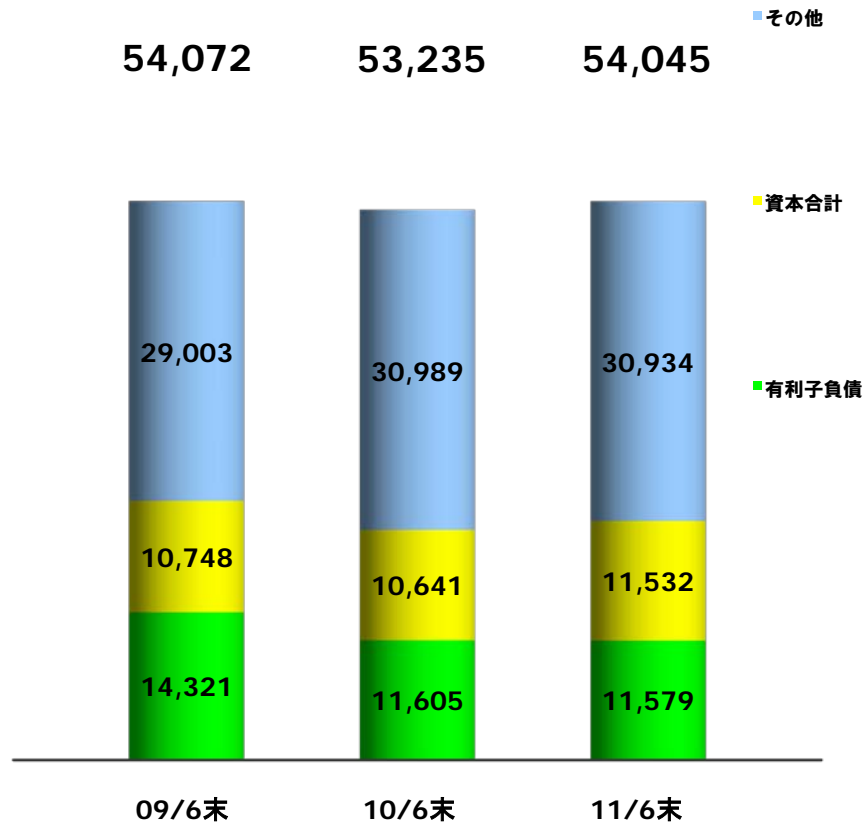
貸借対照表

単位: 億円

資産



負債・資本

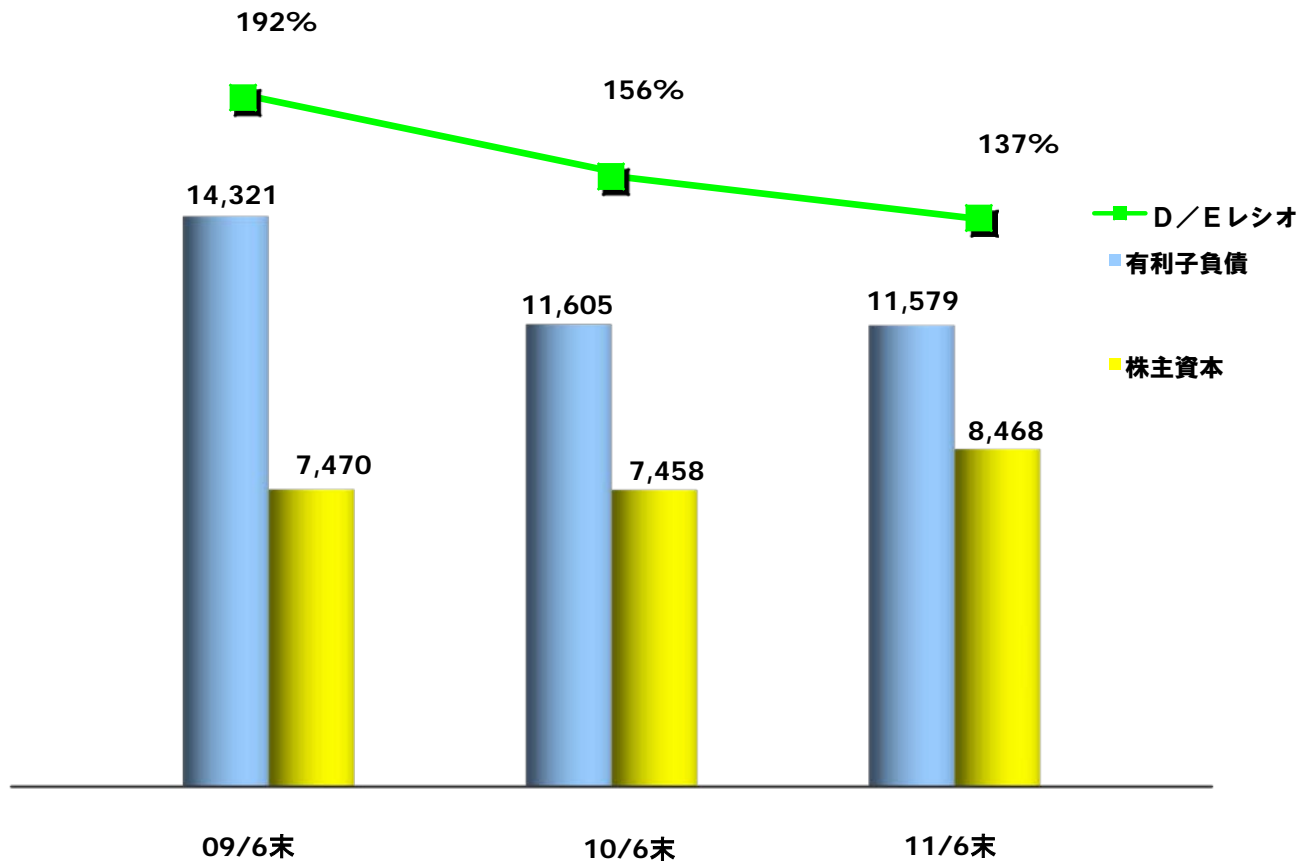


株主資本

	11年 6月末	11年 3月末	10年 6月末	差	
				対11年3月	対10年6月
資 本 金	4,399	4,399	4,399	0	0
資 本 剰 余 金	3,995	3,996	4,008	-1	-13
利 益 剰 余 金	5,393	5,515	4,226	-122	1,167
そ の 他 の 包 括 損 益 累 計 額	-5,304	-5,214	-5,162	-90	-142
自 己 株 式	-15	-15	-13	0	-2
株 主 資 本	8,468	8,681	7,458	-213	1,010
非 支 配 持 分	3,064	3,115	3,183	-51	-119
資 本 合 計	11,532	11,796	10,641	-264	891
株 主 資 本 比 率	15.7%	16.1%	14.0%	-0.4%	1.7%

D/Eレシオ

単位:億円



概要 11年度業績見通し

単位:億円

2011年5月9日に発表した2011年度の業績予想を
変更しておりません

摘 要	11年度	10年度	差
			対10年度
売 上 高	70,000	63,985	6,015
営 業 損 益	3,000	2,403	597
%	4.3%	3.8%	
税 引 前 損 益	2,400	1,955	445
%	3.4%	3.1%	
当 期 純 損 益	1,400	1,378	22
%	2.0%	2.2%	
基 本 的 1 株 当 たり 当 期 純 損 益	33円06銭	32円55銭	51銭

セグメント情報 11年度業績見通し

単位:億円

2011年5月9日に発表した2011年度の業績予想を
変更しておりません

売上高	11年度	10年度	差
			対10年度
デジタルプロダクツ	25,500	23,313	2,187
電子デバイス	14,500	13,477	1,023
社会インフラ	25,000	22,777	2,223
家庭電器	6,500	5,998	502
その他	3,600	3,348	252
連結計	70,000	63,985	6,015

営業損益	11年度	10年度	差
			対10年度
デジタルプロダクツ	200	130	70
%	0.8%	0.6%	0.2%
電子デバイス	1,400	868	532
%	9.7%	6.4%	3.3%
社会インフラ	1,500	1,296	204
%	6.0%	5.6%	0.4%
家庭電器	100	88	12
%	1.5%	1.5%	0.0%
その他	0	8	-8
%	0.0%	0.1%	-0.1%
連結計	3,000	2,403	597
%	4.3%	3.8%	0.5%

TOSHIBA

Leading Innovation >>>